

社会資本総合整備計画 事後評価書														令和05年05月16日	
計画の名称	飛騨市における循環のみの実現（重点計画）														
計画の期間	平成30年度 ～ 平成34年度（5年間）												重点配分対象の該当	○	
交付対象	飛騨市														
計画の目標	下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。														
全体事業費（百万円）	合計（A + B + C + D）		208	A	208	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （A + B + C + D）		0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H30	H32末	H34末
1	下水道整備面積を率で表し、それを89.1% (H30) から100% (H34) に増加させる。			
	下水道面整備率	89%	90%	100%
	下水道整備面積(ha) / 計画面積(ha)			

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
下水道事業	A07-001	下水道	一般	飛驒市	直接	飛驒市	管渠（ 污水）	新設	第 1 処理分区面整備（未 普及解消）	Φ 150mm L=2.9km A=6.5ha	飛驒市	■	■	■	■	■	200	-	-	
	A07-002	下水道	一般	飛驒市	直接	飛驒市	管渠（ 污水）	新設	第 3 処理分区面整備（未 普及解消）	舗装復旧工 A=1200㎡	飛驒市	■						8	-	-
											小計							208		
											合計							208		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制 関係部署（環境水道部水道課）により実施	事後評価の実施時期 令和５年度 公表の方法 市ホームページによる
---	--

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	・下水道面整備について、計画的な施工により整備率は6.8%増となった。目標である下水道整備率100%には、交付金重点配分の見直しに伴い、新たに策定した整備計画での達成を目指す。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	

○特記事項（今後の方針等）

令和２年度に下水道未普及対策事業の交付金重点配分について污水处理施設整備が概成していない団体のみに見直された。当市は平成28年度末時点で污水处理人口普及率95.9%であり、概成済みであることから令和２年度以降は重点配分対象外となり、当該整備計画での事業実施は令和元年度までとなった。今後は、令和２年度から新たに策定した整備計画での船津処理区の面整備を推進し、引き続き安全・安心、快適な暮らしの実現及び良好な環境を創造することに寄与していく。

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	下水道面整備率		
	最 終 目標値	100%	交付金重点配分の見直しにより、令和２年度から新たな整備計画での事業実施に移行したことに伴い、平成30年度～令和元年度末の２ヶ年での実績値となったため。
	最 終 実績値	96%	